

道 路 ・ 交 通

私道整備改善策

市が補助金出す仕組みへ改善を 市民が利用しやすい制度を検討

松葉雅浩議員(公明党)
本市の私道整備は、市が事業者を決定して工事を発注し、私道所有者は費用の一部を負担することと私道整備要綱で定めている。これでは、所有者が整備の時期や事業者を選ぶことが出来ない。所有者が工事を発注し、これに市が補助金を出す制度に改善できないか。

答 私道は個人所有であるが公共的な面も持ち合わせているなどの理由から、要綱を定めた。一方で、所有者に提出書類の作成の手間がかかることや、工事完了まで時間がかかり過ぎるといった課題もある。住民がより利用しやすい制度という視点から、前向きに検討していきたい。

菅野5号踏切



踏切の安全対策

清水みな子議員(日本共産党)
八幡小学校前の商美会通りから京成八幡駅西側に抜ける菅野5号踏切は、自転車の通行量が多く、高齢者

答 市では、市道において

京成八幡駅の踏切の対策は 地権者、事業者と協議していく

との接触事故や自転車同士との事故が起きている。安心して渡れる踏切を求める声が市民から届いている。市

標識の設置やカラー舗装などの安全対策を講じてきた。今後は、踏切遮断時に歩行者空間を確保するための用地確保に向けて、地権者と協議していく。また、踏切内については、市道の路肩部分の白線を踏切内まで引くことで、動線誘導の安全性を向上するなどの対策は京成電鉄と協議していく。

京成本線と市道等の境界

稲葉健二議員(緑風会)
京成本線と接する市道等の道路境界に未確定の部分があると聞いている。境界確定は、市や民地の財産を

答 現在、京成本線に接し

境界確定に今後どう対応するのか 市として出来る協力は検討

確定する上や、将来の京成本線連続立体化を考えていく上で重要であると考えている。境界確定の現状と課題、今後の対応について問う。

ている市道等との境界確定は約30%である。境界確定には、市、京成電鉄、対面地側の土地所有者の同意を得て協議する必要があるが、各々の資料等の相違により調整がつかない場合もあり、大きな課題となっている。今後は、道路境界の確定について、市として出来る協力は検討していきたい。

防 災

災害時の救援活動

かいづ 勉議員(道)
市民のほとんどが市外に働きに出ている日中に、大地震が発生したら、誰が救援活動を行うのか。消防職

員の約50%弱が市内に在住していない現在、緊急時には救援活動が手遅れになる。中学生の救援活動はボランティア教育にもつながる。体力のある中学生を即戦力としていきたい。

体力のある中学生を即戦力に 教育委員会と連携をとっていく

とすべきではないか。

答 災害時の救援活動については、中学生の協力は非常にありがたく、戦力にしなければいけないと考えている。地域の防災訓練においても、地域の人々と一緒に訓練に参加しているが、今後も教育委員会と連携をとりながら、戦力化を図っていきたい。

公 園

公園の安全対策

小林妙子議員(公明党)
平成22年2月定例会に専決処分として、公園内で歩行中に起きた事故の報告が提出された。このような

答 公園の安全対策として、

事故が起きないように対策を 異常個所の早期発見に努める

事故が起きないように対策をしっかりとって欲しいと強く思っている。

公園の安全対策についてどう考えているのか。

遊具については、毎年、専門業者による国の基準に基づいた危険度判定を行い、計画的に整備している。日常点検は、現場作業員が行い、異常個所の早期発見に努めている。しかし、市民の協力を得ることも必要であり、異常個所の通報を受けた場合、直ちに現場に向かい安全対策を講じている。

委 員 会 の 視 察

議会運営委員会

【日程】
平成22年2月9日～10日
【視察地】
西宮市
委員会における一問一答制
大阪市
委員会のインターネット中継



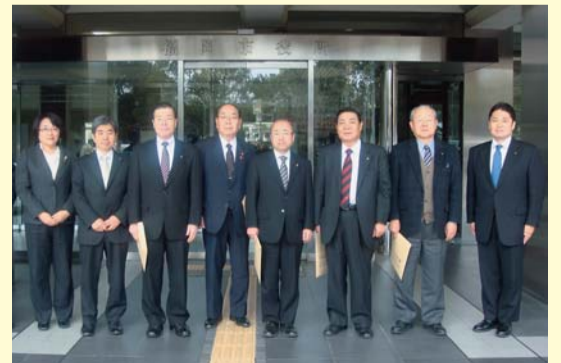
大 阪 市

【主な視察内容】
西宮市では一般質問での会派割り当て時間制や委員会での一問一答制の採用など、議会改革特別委員会で議会改革に取り組んでいる。大阪市では常任委員会の審査の様をイン

ターネット中継する他、議案等の本会議への上程前に委員会でも審査し、上程された際に即決か委員会付託かを決定する事前調査等について視察した。

東京外郭環状道路特別委員会

【日程】
平成22年2月4日～5日
【視察地及び項目】
福岡国道事務所
福岡外環状道路
福岡市
福岡市道路整備アクションプラン2001
道路整備箇所(自転車走行空間・駐輪場の整備)



福 岡 市

【主な視察内容】
福岡外環状道路は福岡市西南部地域の慢性的な交通混雑を緩和するために、高速道路と一体となり都市圏の外郭を形成している。また、平成23年度までに優先的・重点的に取り

組む事業を定めた道路整備アクションプランと、道路空間を有効活用し自転車走行空間を創出すると共に、駐輪場の整備を実施している道路整備箇所を視察した。